



神戸観光ガイド 港町が紡ぐ歴史と未来 の物語

異国への扉が開かれたとき



1867年：神戸開港

日本と世界をつなぐ玄関口として開港。多様な文化・人・物資が流入し、日本近代化の礎となりました。



北野エリアの異人館

外国人居留地として栄えた北野には洋館（異人館）が立ち並び、ハイカラな西洋文化が根付いていきました。



旧居留地の洋館

現在も当時の面影を色濃く残す旧居留地。歴史的な洋館建築が続くレトロな街並みは今も神戸の顔です。





グルメ文化

日本の食文化を変えた「神戸スイーツ」

港町としていち早く砂糖や洋菓子文化が根付いた神戸。大正時代にはモロゾフやユーハイムが日本で初めてバウムクーヘンを提供し、スイーツ文化を切り拓きました。

現在は「パンの街」としても有名で、全国屈指のブーランジェリー激戦区として多くのファンを魅了し続けています。

第2章

1995年：激動と再生の記憶

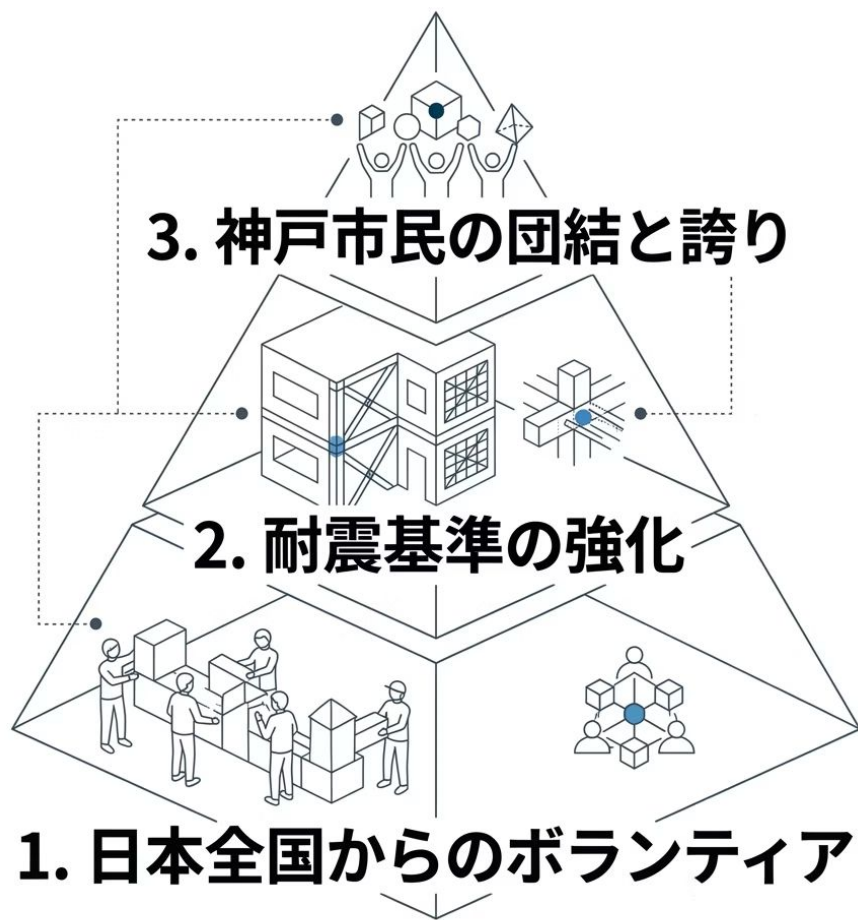
 1月17日 午前5時46分

阪神・淡路大震災が神戸を直撃。近代日本史に刻まれた未曾有の大災害が始まりました。

 都市機能の停止

電気・水道が断絶し、街の機能は完全に失われました。多くの市民が絶望的な状況に直面しました。





復興

「ボランティア元年」と復興の絆

震災後、全国から駆けつけた無数の支援者たちが復興の礎を築きました。この経験は「ボランティア元年」と呼ばれ、日本の市民活動の歴史を変えました。

耐震基準の強化や防災マニュアルの整備など、世界に誇る防災都市へと進化。そして何より、神戸の強さは「人」にあるという市民の誇りが、街を取り戻す力となりました。

希望の灯り

震災から生まれた光の希望：神戸ルミナリエ

1

1995年12月

震災の犠牲者を悼み、復興を願って光の祭典が始まりました。

2

復旧途上の夜に

まだ復旧の途上にあった街に灯った光が、市民に勇気と希望をもたらしました。

3

2025年：第30回

復興した神戸を今も照らし続ける、希望と感謝のシンボルとして輝き続けます。



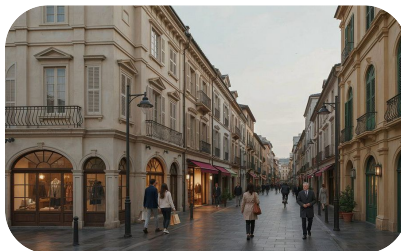
第3章

三宮から元町へ、進化する街歩き



三宮：交通の中枢

6路線が集結する神戸観光の拠点。山側・海側という独自の方向感覚も神戸ならではの。



元町：老舗と新店の交差

三宮から徒歩15分。トレンドショップと老舗が肩を並べる散策の宝庫です。



山と海に囲まれた都市

JRより北は「山側」、南は「海側」。コンパクトな街に豊かな自然と都市が共存します。

ベイエリアの変貌：海と街が響き合う



メリケンパーク

開港150年を経てリニューアル。神戸港のシンボルとして訪れる人々を迎えています。



神戸ポートタワー

鼓型の美しいタワーからは、1000万ドルの夜景と呼ばれる絶景が広がります。



BE KOBEモニュメント

震災後20年の感謝と未来への意志を込めた、神戸を愛する市民の象徴。



観光の極み：癒しと発見の体験型スポット



神戸布引ハーブ園

ロープウェイで登る山上のパノラマと四季の花々。港と街を見下ろす絶景が迎えます。



南京町

日本三大中華街のひとつ。食べ歩きグルメと異国情緒あふれる雰囲気を楽しめます。



灘五郷の酒蔵めぐり

日本酒の一大産地・灘。歴史ある酒蔵を訪ね、日本の醸造文化の奥深さに触れましょう。

未来へ向かう港町・神戸

震災の教訓を胸に、人と街の絆で進化し続ける国際観光都市・神戸。
次の週末は、坂道を下り潮風を感じる神戸へ出かけませんか。

あなたの訪問が、人と街のつながりを紡ぐ物語の一部になります。



お問い合わせ

合同会社igavik

代表社員 岡林愛

✉ igavik122@gmail.com

☎ 050-1158-6734

📍 神戸市中央区磯辺通2-2-10-1006

